

## 2023年度 研修委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：林直子 副委員長：宮岡直美          委員：二宮園美 藤本彩 吉川喜恵 小林澄子、大野かおり          オブザーバー：並河直子</p>
<p>■開催回数</p>	<p>9回          (4月28日、5月24日、6月14日、7月26日、8月17日、10月12日、11月18日、12月16日、1月16日)</p>
<p>■活動目標</p>	<p>1. 体系的に計画された継続教育を行うための研修ができるようにプログラム作成をする。          2. 全員が公平に受講機会を得ることができるように各団体との協力関係を構築する。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. 新人、初級、中級、上級、管理者各レベル別の教育プログラムを実装できる形にする。          1) 教育プログラムの名前を「訪問看護師の経験に応じたレベル別学びの機会」とし、最後のレベルⅣとⅤを仕上げた。          2) 冊子作成のための書式や文面の統一を図った。冊子の使い方の説明文についても検討した。          3) 冊子を600部印刷し各会員に郵送した。</p> <p>2. 広報のための研修会を開催する。          1) 11月18日と12月16日に「訪問看護師の経験に応じたレベル別学びの機会」冊子の使い方の研修会を開催した。          2) 「訪問看護師の教育の現状と課題」と題して兵庫県立大学看護学部在宅看護学教授大野かおり先生が講演され、その後冊子の使い方を説明しグループワークで「自施設でどのように冊子を活用できるか」をテーマに話し合った。          3) 11月18日は52名が参加し兵庫県民会館で開催した。12月16日は74名と定員オーバーしたため急遽会場を変えて兵庫県看護協会の研修室6と7の2会場に分かれZOOM中継しつつ実施した。          4) 参加者からは「自己評価や自己研鑽に活用できそう」「ステーション全体で同じ指標での教育ができそう」等高評価なフィードバックをいただいた。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>教育プログラムは完成し冊子としてまとめ、プログラムについての広報と研修会を行ったので活動目標は達成したと考える。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>今後、教育プログラムによる学習の評価や実践能力の評価が必要。</p>